

平成25年度人事院政策評価結果

		政策所管部局	人材局
政 策	3 総合職試験への英語試験の活用		
目 標	<p>(政策目標)</p> <p>行政の国際化が進展する中、政策の企画立案等の業務に必要な基礎的な英語能力を有する者が採用できるよう、採用試験について必要な見直しを行う。</p> <p>(具体的な取組内容)</p> <p>平成27年度の総合職試験を目途に外部の英語試験を活用することができるよう、用いる英語試験の種類、活用方法の検討を行うこととする。その際、受験準備に要する期間を確保するため、早期に受験者に周知できるよう準備を進める。</p>		
具体的取組結果	<p>《取組内容1》用いる英語試験の種類、活用方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語試験や英語教育に知見のある有識者及び各英語試験の実施団体に対してヒアリングを行うとともに、平成24年度及び平成25年度総合職試験受験者等の英語試験についての申告状況等を分析し、用いる英語試験の種類や基準となる点数を含む活用方法について検討した。</li> </ul> <p>《取組内容2》受験者への周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年12月27日に、用いる英語試験の種類や基準となる点数を含む活用方法全体の概要をホームページにおいて公表した。</li> </ul>		
達成度の評価	<p>評語 B</p> <p>《理由》</p> <p>有識者及び各英語試験の実施団体に対してヒアリングを行うなど、用いる英語試験の種類や基準となる点数を含む活用方法について着実に検討を行い、</p> <p>平成25年12月27日に、用いる英語試験の種類や基準となる点数を含む活用方法全体の概要の公表を行った。</p> <p>このように、今年度に取り組むこととしていた事項について、全て実施できたことから、平成25年度における目標は達成された。</p>		
測定指標（ある場合に記入）			
効率性・有効性の評価	<p>【効率性】効率的であった</p> <p>《理由》</p> <p>これまで、採用試験における英語能力の検証は、人事院が、基礎能力試験において英文の問題を出題すること等により行ってきたが、英語によるコミュニケーション能力等の審査については、既存の外部団体が実施する英語試験のうち、広く利用され、内容や水準についても社会的な信頼を得られていると認められるものを活用することとしたことから、施策は効率的であった。</p> <hr/> <p>【有効性】</p> <p>上記施策は有効であったものとするが、その評価は27年度試験の実施を踏まえて確定させることが適当であることから、現時点における評価は控えることとした。</p>		

<p>今後の施策に反映させるべき事項</p>	<p>平成27年度の総合職試験から英語試験を活用するに当たり、スコア等の確認方法など、具体的な試験の実施方法について更に検討し、適正に試験を実施できるよう準備を行う必要がある。</p>
<p>有識者の意見</p>	<p>○ 総合職試験に外部の英語試験を活用するということを決定したこと、また、活用の方法を加点方式としたことは評価できる。ただ、この程度の点数で加算して良いのか、他方で公務員試験の受験者を減らすことにならないかなど、難しい課題である。今後は、試験の実施状況を検証しながら、加点の対象となる英語試験の点数の水準等についてフォローを続けてほしい。</p>